

# 終活のための保険 みどり生命

終活準備で、大切な人に安心と笑顔を



85歳までお申し込み可能

みどりの終身 **メモリアルⅢ**

一生涯保障  
※保険料は  
わかりません

告知や  
医師の診査  
不要

がん・病気で  
入院や治療中  
でも申し込める

お手頃な  
保険料

保険料払込期間で選べる **3つのコース** 10年/20年/100歳払済

例

保険金額  
100万円

65歳 女性

100歳払済

保険料 月々  
**4,191円**

※詳しくはパンフレット(契約概要)「注意喚起情報・ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

みどり生命プレゼンツ

志ん輔と仲間たち  
スペシャル公演 2024

2024年  
3月23日(土)  
13時30分開演  
横浜にぎわい座  
芸能ホール



ありがとう3周年

## プログラム

- 一、開演・オープニング
- 一、前座
- 一、落語
- 一、太神楽曲芸
- 一、落語

古今亭志ん輔  
林家ぼん平  
三遊亭ぐんま  
翁家和助  
古今亭志ん輔

## 仲入り

- 一、粹曲
- 一、端唄「年中行事」(桑原ゆう編曲)  
花の風雅 (本條秀太郎作曲、桑原ゆう編曲)
- 一、落語、ヴァイオリン、チェロ、  
三味線のための《死神》(桑原ゆう作曲)

柳家小菊  
淡座

古今亭志ん輔・淡座

■主催 毎日新聞社、毎日企画サービス

■協賛 伊藤園、川本工業、ファンケル

■特別協賛 みどり生命保険

■後援 FMヨコハマ、横浜観光コンベンション・ビューロー

15 YEARS ANNIVERSARY  
おかげさまで15周年、ご契約件数27万件

— 安心の未来を託す。  
みどり生命

みどり生命 🔍 で検索

M01322312

## ごあいさつ

コロナ禍で始まり、毎月1回配信しておりますオンライン落語会「志ん輔と仲間たち」は、お陰さまで3周年を迎えることができました。これも、視聴してくださっているお客さまと、快く出演して下さったゲストの皆さまのお陰と感謝しております。

横浜にぎわい座でのスペシャル公演は昨年2月に初めて開催し、今回が2回目です。直近1年間のゲスト芸人やアーティストにお声をかけ、参集していただきました。お得意の芸をゆったりお聞きいただけるプログラムとなっています。どうぞお楽しみください。

また、横浜にぎわい座の前館長で落語家の故・桂歌丸師匠(享年81)が今夏、七回忌を迎えます。歌丸師匠のリスペクト公演として4~10月、ライフワークとされていた長編作品「真景累ヶ淵」を4席に再構成して語らせていただきます。今回のスペシャル公演はその「序章」ともいえる大切な舞台です。心を込めて演じたいと思います。

古今亭志ん輔

## 出演者に聞きました!

順不同・敬称略

### Q1. コロナ禍が明けて変わったこと Q2. 今日の見どころ



古今亭志ん輔

**Q1** 気持ちの持ち方でしょうね。収入が2年間なかったことは苦しいというより発散しない自分に開き直るしかないわけで、誰にも当たることができませんでした。それは収入より芸人としてその時期の自分はなんの価値もないことを認めねばならないわけで、徐々に無気力になってゆく自分がいました。コロナ明けはやはりお客さまあつての我々だと心からありがたく思った次第ですが。今日はありがとうございました。

**Q2** 寄席と同じようで同じではないところでしょうか? 寄席は最初の出番の方から徐々に波が上向いてゆき、トリで最高潮になるように出演者が心得ながら演じます。今日は同じことをやったとしても心得が「私を見て!」になっているわけですから、お客さまも思う存分各々の出演者を堪能できるはずですよ。どうぞお楽しみください。



柳家小菊

**Q1** 当たり前にお客さまのいる高座のありがたみをしみじみ感じています。

**Q2** 端唄俗曲など古臭い唄ではありません。大人のお洒落な love song です。今日はクラシック音楽の皆さんと合わせるとどうなるのか、私が一番楽しみにしてるのかもしれない。



翁家和助

**Q1** 寄席にお客さまが帰って来て、コロナ禍より客席に活気が戻りました。特にご年配の団体が増えたように思います。

**Q2** 自分の高座の中でも土瓶の芸はやはり4番バッターなので、なるべくノーマスでいきたいところですが、はたして今日はどうなりますでしょうか?



三遊亭ぐんま

**Q1** 我々の世界は「前座から二ツ目になると仕事がなくなるよ」とよく言われているのですが、私が二ツ目に昇進したのは2020年の5月で、まさにコロナの第一波で本当に仕事が0でした。あの経験をしているので、コロナ禍が明けた今は仕事が多いんじゃないかと錯覚させて貰っています。そう。錯覚です。

**Q2** 大先輩ながら、活きがいい後輩がいると引っ張り上げてくださる志ん輔師匠に仲間として呼んでいただいたので、イキイキとした高座を務めます。ちなみに私は父が横浜の瀬谷出身なので、半分は浜っ子です。もはや三遊亭横浜と言っても過言ではありません。すいません、過言でした。三遊亭ぐんまとして頑張ります!!



三瀬俊吾

**Q1** マスクをして演奏していると、息苦しいだけでなく音が聴こえにくいように感じます。鼻と耳が繋がっていることを強く実感しました。マスクをしながらの演奏に戻らないことを祈るばかりです。

**Q2** 淡座は志ん輔師匠とともに、古典落語と現代音楽で新しい表現を追求して参ります。



竹本聖子

**Q1** 制限がなくなり、たくさんのお客さまに会場にお越しいただけるようになりました。また、当たり前前の日常を過ごせることの大切さを日々感じています。

**Q2** 淡座は、今の私たちの音楽と江戸の古の情緒を合わせて紡ぎ、新しい音世界で



本條秀慈郎

**Q1** コロナが明け全てが変わりました。価値観も、感覚的なことを含め、人の業が問われているのかと思います…。人の手を離れるツールや改革という名のカタカナばかりの集合に人はどこか疲れ、バランスを保てていないように思います。今こそ芸の集う空間に身を寄せ共に発散しましょう!! “弥生の岸に投げる散財かえるは無駄か知か心” 必要かどうか分からないことに投資し、時間をかける。一見無駄かもしれない中に、先人から結びし救いの手と心のご褒美があるかもしれません。

**Q2** 三味線には日本の美意識から生まれた音の特性として“さわり”があります。楽器の祖先は遥か彼方エジプト・ペルシャに遡ります。起源を同じくするヴァイオリンやチェロは現在、音楽に聞くことの出来るよう“さわり”に似た音や日本音楽の多様な表現も獲得しています。淡座ではそうした世界の古から脈打つシンパシーを聞き、江戸文化に学びながら活動して参りました。旗揚げから13年間こうしてお世話になり、学びを頂いている志ん輔師匠との共演はまさに淡座というグループの聴きどころでもあります。東西の融和という谷を越え発掘された新しい江戸という遺跡を想像してみてください。



桑原ゆう

**Q1** マスク無しのコミュニケーションが再びできるようになり、ほんとうによかったです。

**Q2** 淡座のステージでは、十八番のオリジナル作品から二曲演奏します。日本の風物詩や縁起物などを年始から唄いあげる端唄《年中行事》は、皆さんもお馴染みの日本の歌やクラシック音楽の旋律を織り交ぜた編曲です。本條秀太郎作曲《花の風雅》は、元々邦楽器のア

ンサンブルで演奏する曲ですが、和洋折衷の絃楽トリオの響きを活かして編曲しました。志ん輔師匠とつくりあげる《死神》は、一聴、即興的に演奏しているように聴こえるかもしれませんが、実は、音もタイミングも全て作曲し、楽譜に細かく記してあります。志ん輔師匠と長年協働し、培ってきた、語りと音との間合いの妙から紡ぎ出す《死神》の世界を、どうぞお楽しみください。



林家ぼん平

**Q1** 普段は師匠と一緒に食事、住居を共にしておりますが、なかなか、会話と食事ができない日々が続いておりましたが、最近は笑顔が増え明るい家庭を築いています(笑)。困ったときはみどりの窓口に相談します。

**Q2** 初めての会なので左も右も分かりませんが、前座らしく明るく元気に楽屋働き、高座を務めます。よろしくお願いたします!

☆志ん輔と仲間たちの最新情報は、こちらからチェック!

公式サイト  
shinsukenakama.com



X(Twitter)  
@withshinsuke



YouTube  
@shinsukenakama

